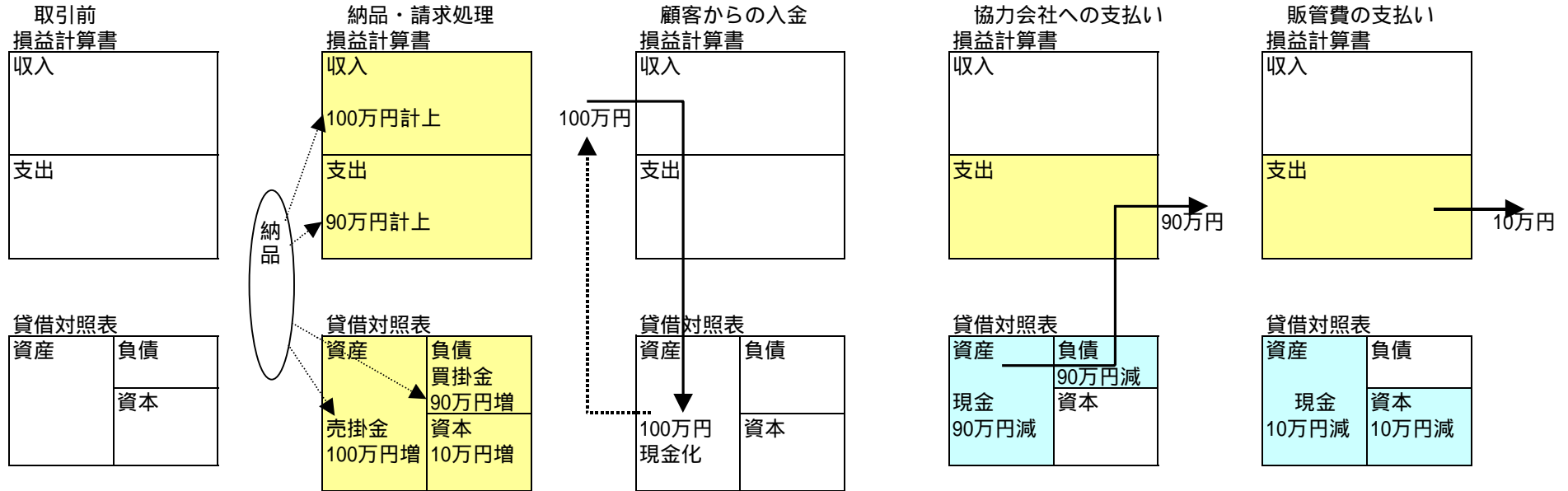


【図15-1：シンプルな取引・・・図14-2の改訂版】



納品し請求処理した時点で、損益計算書では売上、貸借対照表では売掛金として100万円が計上される。協力会社から請求書が来た時点で、損益計算書では外注費として、貸借対照表では買掛金として、90万円が計上され

入金があった時点で、貸借対照表で100万円の売掛金が現金になる。

協力会社に90万円支払った時点で、貸借対照表で90万円の買掛金と現金が消える

販管費として10万円支払った時点で、貸借対照表で10万円現金が減る。損益計算書で10万円の販管費が計上される。

